

2013年4月、出版デジタル機構、定期配信開始
みすず書房、講談社、スリーエーネットワーク、山陰中央新報社
4月19日（金）より78タイトルを配信

株式会社出版デジタル機構（東京都千代田区、代表取締役社長：野副正行）は、4月19日（金）より、弊社がお預かりし電子化したコンテンツの電子書店への定期配信を開始いたします。

2012年春、出版デジタル機構は電子出版ビジネスの市場を拡大し、新規参入を促す事業会社として設立いたしました。初年度に力を注いできた事業のひとつとして、経済産業省「コンテンツ緊急電子化事業（緊デジ）」があり、弊社はこの事業の申請代行／配信パートナーとして全面協力いたしました。その「コンテンツ緊急電子化事業」によって電子化されたタイトルを中心に、4月19日（金）より定期的に配信してまいります。

4月19日（金）に配信される主なタイトル

・みすず書房 45タイトル

みすず書房、最初の出版物として1946年に刊行された『詩心の風光 新版』（片山敏彦著）や、サン＝テグジュペリ・コレクション等の外国文学。亀山郁夫や小沼純一らがライブ感覚の授業のようにドストエフスキーやカフカ、バッハを語る人気シリーズ「理想の教室」。外山滋比古、池内紀、荒川洋治、中井久夫、山本義隆らによる評論、エッセイ。『村上春樹短篇再読』『村上春樹〈訳〉短篇再読』（風丸良彦著）は3年ぶりの書き下ろし長編小説『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』（文藝春秋刊）が刊行され、新旧の著作や関連書籍へも関心が集まる村上春樹への格好のガイド。

・講談社 「電子版・本田靖春全作品集」 28タイトル

孤高のジャーナリスト、本田靖春氏の絶版タイトルを含めた28著作を「電子版・本田靖春全作品集」として、完全電子化。読売新聞社会部時代、「黄色い血追放キャンペーン」を展開、日本の献血制度確立に多大な貢献を果たす等、エース記者と名を馳せたのち、フリーのノンフィクション作家に転身。『不当逮捕』（第6回講談社ノンフィクション賞受賞作）『誘拐』『私戦』『疵 花形敬とその時代』などのルポルタージュを次々と発表、大きな反響を呼んだ。2004年12月死去、享年71。

・スリーエーネットワーク 4タイトル

『English 脳で覚える英単語ハンドブック』といった語学教材や、読み物、実用書としても楽しめるマンガエッセイ『移住楽園 バグースパラダイス』など。

・山陰中央新報社 1タイトル

平成の大遷宮で注目を集める島根県の県紙・山陰中央新報社。昨年、「古事記」編纂1300年を記念して出版された『マンガで親しむ出雲神話① スサノオ』が待望の電子化。

配信先電子書店は、すでに配信を開始しております学芸出版社、下野新聞社、ビーナイス各社のタイトルと同様に、「エルパカ BOOKS」「GALAPAGOS STORE」「紀伊國屋書店 Kinoppy」「コープデリ e フレンズ電子書店」「kobo イーブックストア」「コンテン堂」「セブンネットショッピング」「d マーケット BOOK ストア」「デジタル e-hon」「どこでも読書」「TOP BOOKS」「NEOWING」「Varsity eBooks」「ひかり TV ブック」「BooksV」「BOOKSMART Powerd by BOOKER'S」「BookLive!」「BookLive! for Toshiba」「honto」「本よみうり堂デジタル」「漫画全巻ドットコム」「MOBI-BOOK」(五十音順)を予定しております(取扱タイトル、発売開始時期は書店により異なる可能性があります)。

<株式会社出版デジタル機構について>

電子出版ビジネスの市場を拡大し、新規参入を促す事業会社として設立。あらゆる端末、あらゆる電子書店、あらゆる出版社を結ぶ架け橋となり、電子出版市場をつくっていくことを目的としている。

サービス名称の「pubridge (パブリッジ)」は、Publish (出版) と Bridge (橋) を組み合わせた造語。

商号：株式会社出版デジタル機構 (サービス名称：パブリッジ)

代表取締役社長：野副 正行

設立：2012年4月2日

資本金：39億2800万円

URL：<http://www.pubridge.jp>

このリリースに関するお問い合わせは出版デジタル機構(宮武、中村)までお願いいたします。

TEL：03-3518-9750 MAIL：press@pubridge.jp